



## 無芸小食と多趣味

一般財団法人地域社会ライフプラン協会 廿日岩信次

**「無**芸小食」。この言葉は、私が社会人になって間もなく、新入職員の簡単な自己紹介一覧をつくるから貴君の分を記するようにと求められた折の参考に、確か2年先輩の方が書かれたものの中であって、面白い表現だなと感心すると同時に、私こそその通りだなと思った次第です。

君の趣味は何かと聞かれて考えると、子供のころは昆虫採集に出かけたり、切手やコインの収集に夢中になったこともありましたが、いずれも高校生までは続かず、社会人になって、さて休日や平日でも仕事以外の時にどうしているのですかという、読書は趣味に入らない、友人に誘われるままに日曜日に早起きさせられて週1回3カ月ほど初心者向け講習に行ったテニスも、講習終了後年に1回軽井沢に行く程度では趣味としてカウントできないと言われると、あまり思いつかなかったのです。

数年して、海外赴任時に、同僚たちがパソコンを操っているのを横目にワープロ専用機で文書を作成していましたが、帰国して2年ほどして職場にもパソコンが普及し始めたころ、日常使用するワープロや表計算ソフト以外に何かできないかとコンピュータのプログラミングに興味をもちました。その際、C言語というオーソドックスなプログラミング言語が無料で使用できるというので、パソコンソフトの動く仕組みやプログラミングの解説本を数冊読んでほどなく、そのころ主流でしたDOSというOSに対応した小さなプログラムは、なんとかできるようになりました。当然業務に使えるようなものでなく、趣味の範疇です。その後、Windowsパソコンが主流となり、ソフトの作り方がガラッと変わりましたが、再び書籍を数冊読んで、なかなか面白いなとソフトづくりに断続的にチャレンジしました。なお、デスクトップパソコンは自分で組み立

てた3代目のものを愛用中です。

早々とやめてしまったテニス以外のスポーツはどうかと言いますと、地方勤務の時に付き合いで必要になって始めたゴルフはボーリングとスコアが逆であってほしい状態で、海外赴任時に新しいゴルフセットを購入し、当時は月に2、3回出かけましたが、帰国後は年1、2回となり、上達もせず、最近は全くやっていません。

芸術方面も大学生のころオーディオ製品に多少こってFM放送のエアチェックというのをやってイーージーリスニングという音楽分野に興味をもっていたぐらいで長年疎い状態でしたが、たまたまテレビのBSかCS放送で見たのがきっかけでオペラに興味をもち、数回、新国立劇場で観劇しました。オペラという難しいのではと思われるかも知れませんが、ストーリーは恋愛とか人の生涯一般のもので、お話そのものより、出演者や演奏の表現に惹かれるのかと思います。また同劇場にあるビデオブースが無償で使えると聞いて、時折、過去の作品を見させてもらっています。

一般には、一つか二つ専門家とまでいかなくとも相当深くやればよいと思いますが、私のように、浅くてもいろいろ楽しむことでもまたよいのではないかと思います。趣味はと聞かれて、これというものがないという方も、興味の赴くままに、いろいろやってみると、その中から続くものができたらよし、できなくても、また何か新しいこと、かつて齧ったことのあることでも再度気楽に始めればよいのではと思っています。

